

math news

～算数通信 No.7～

大田区立南蒲小学校 算数担当 
2025.10.31

【身の回りの「算数」を見つけよう】

4年生は、「垂直、平行と四角形」の学習で、「垂直」「平行」の意味とかき方を学習しました。

「垂直」とは、2本の線が直角(90度)に交わることです。例えば、黒板と床の関係、教室の壁と床の関係、ノートのたて線と横線の交わりなどが「垂直」です。一方、「平行」とは、2本の直線をどこまでのばしても交わらない関係のことです。例えば、ノートの横線、机の前と後ろのふち、窓の上のふちと下のふちなどが「平行」の例として見つかります。

授業では、三角定規を使って垂直や平行の関係をいかたり、実際の教室の中からそれを見つけたりする活動を行っています。「あ！この黒板のふちと床が垂直だ！」「窓の枠は平行になっているね。」と、こどもたちは楽しそうに発見していました。

ご家庭でも、「このドアのふちは垂直かな？」「テーブルのふちは平行になっているかな？」といった声かけをしていただけると、学習内容の理解がより深まります。ぜひ身の回りの中から「垂直」と「平行」を探してみてください。



【11月の学習予定】

4年生: 「垂直、平行と四角形」「分数」「変わり方調べ」

5年生: 「単位量あたりの大きさ」「四角形と三角形の面積」

6年生: 「比例と反比例」「並べ方と組み合わせ」

【11月の学習学習用具】

全学年共通: 教科書、ノート、筆記用具、下じき、直定規、Chromebook

4年生: 三角定規、分度器、コンパス

5年生: 上記のみ(はさみ、のり、テープ)

6年生: 上記のみ

【5年生の学習】

5年生は「平均」について学んでいます。「平均」は、たくさんのデータを「まとめてくらべる」ときに使う便利な考え方です。例えば、「3日間の気温の平均」や「テストの平均点」など、生活の中にも登場します。こどもたちは、「合計を人数や回数で割る」ことで求める方法を確認めながら、データをもとに考える力を身に付けています。

【6年生の学習】

6年生は「体積」と「およその体積・面積」を学習しています。立方体や直方体の体積の求め方をもとに、実際のものの大きさを「おおよそ」でとらえる練習をしています。例えば、「教室の体積はどれくらい？」「プールの水の量は？」など、実感をもって考える活動をしました。

【算数クイズ】

①(4年生) どこまでのばしても交わらない2本の線を何というでしょう？

👉 ()

②(5年生) 4人の点数が 80点・70点・90点・60点のとき、平均点は何点でしょう？

👉 ()

③(6年生) $1\text{m} \times 50\text{cm} \times 40\text{cm}$ の箱の体積は何 cm^3 でしょう？

👉 ()

(答え:①平行 ②75点 ③20000 cm^3)

【🏠おうちの方へ】

ご家庭でも、ぜひ算数を話題にしてみてください。「この線は平行かな？」「みんなの平均はどのくらい？」「この箱の体積ってどれくらいかな？」

身近なことの中で“考える算数”を楽しむことで、学びがぐんと深まります。